

みらいとも



みらいをともに

ニュース

発行／県民クラブ みたらいともひろ

連絡所／大分市下郡字長谷496-38 TEL097-556-7757 FAX097-556-9288 携帯090-4350-2376 メールアドレスto4350mo@gmail.com

初当選を果たすことができました!



【水岡俊一参議院議員が激励に】

温かいご支援をいただき、ありがとうございます。
10,367票の重みを受け止め、精進して参ります。引き続きのご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

県議会議員として歩み始めました

4月12日、県庁にて「当選証書授与式」が行われ当選証書と議員記章（議員バッジ）を拝受いたしました。議会関係法規等がまとめられた「大分県議会提要」をいただき、誠実に職務に臨んでいく決意を新たにしました。



議席は25番となりました

議席はまず各会派に割り振られ、会派内で場所を決定します。「みたらいともひろ」は県民クラブ1期め議員で、最も年齢が若いため、一番前の席（25番）となりました。向かい側は佐藤知事をはじめとする執行部席です。「みたらいともひろ」は知事のほぼ真正面に着席しています。



「投票立会人」をしました



本会議の前に臨時会が開催され、正副議長を選出等が行われました。会議規則第31条第2項の規定により指名される3人の立会人の1人として、投票箱の点検や票の確認などを行いました。議長には元吉俊博議員が、副議長には木付親次議員（いずれも自由民主党）が選出されました。県民クラブの代表である玉田輝義議員は、副議長選挙で16票を獲得しましたが及びませんでした。

文教警察常任委員になりました

常任委員会は6つ

- 総務企画
- 福祉保健生活環境
- 商工観光労働企業
- 農林水産
- 土木建築
- 文教警察

議員は上記のうちの1つの委員となり、各部局の事業や予算等について審議し、所管事務の調査を行います。原則として所属は1年ごとに変ります。「みたらいともひろ」は教育行政と警察行政を所管する文教警察委員として、常任委員会への参加や、所管事務調査を行いました。

「県民クラブ」に所属しました

会派は、平岩純子前県議と同じ「県民クラブ」に所属しました。会派の人数は現在11人です。県議会では2番めに人数の多い第2会派となります。会派の皆さんと切磋琢磨しながら、議員として成長できるようがんばっていきます。



←県民クラブHPはこちら

～第2回定例会報告～

(23年7月5日(水)～8月2日(水))

☆開会日に佐藤新知事が、以下に示す基本姿勢と方針について所信表明を行いました。

《3つの基本姿勢》

- ① **「対話」** できる限り現場に足を運び、対話を重ねながら、県政に反映させていく
- ② **「継承・発展」** 従来からの取組を加速させながら、新しい大分県づくりに的確かつ果敢に取り組む
- ③ **「連携」** 18市町村はもとより、経済・労働界、NPO等、何より県民と連携することで、県政推進の原動力とする

《県政執行の方針》

「安心元気」 「未来創造」

誰もが安心して住み続けたい大分県、知恵と努力が報われる大分県、誰もが訪れたい大分県づくりに全力を尽くす。多様性を受け入れ、支援を必要とする方々に寄り添う行政を推進し、子どもや高齢者、障がい者など、誰もが安心して暮らせる大分県を創り上げる。

☆続いて補正予算案について提案がありました。主な項目とその予算額を紹介します。

「物価高への対応と社会経済活動の活性化」

- ・社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業費(21億3,489万円)
- ・LPガス等価格激変緩和対策事業費(20億6,500万円)
- ・中小企業等エコエネルギー導入支援事業費(4億2,500万円)
- ・畜産経営緊急事業支援費(6,460万円)
- ・堆肥広域流通・飼料生産拡大モデル事業費(6,476万4千円)
- ・地域消費喚起プレミアム商品券支援事業費(20億1,000万円)

「子ども・子育て支援」

- ・おおいた子育てパパ応援事業費(1,478万9千円)
- ・おおいた子育て応援スクラム事業費(1,845万円)
- ・妊産婦検診等支援事業費(388万1千円)
- ・がん対策推進事業費(9,583万8千円)

「健康寿命の延伸」

- ・自立支援型サービス推進事業費(2,048万5千円)

「移住・定住の促進」

- ・若年者移住サポート事業費(3,794万6千円)

「障がい者の就労支援」

- ・障がい者就労環境づくり推進事業費(8,041万円)

「外国人材の活用」

- ・外国人労働者受入対策強化事業費(4,920万8千円)

「安心で質の高い医療サービスの充実」

- ・訪問看護強化事業費(759万2千円)

「災害に強い県土づくり」

- ・市町村避難所DX等推進事業費(467万2千円)

「農林水産業の成長産業化」

- ・大規模園芸農地確保推進事業費(2,000万円)
- ・中山間地域営農経営体強化対策事業費(9,697万5千円)

「商工業の振興」

- ・中小企業金融対策費(796億678万6千円)
- ・小規模事業支援事業費(13億5,768万5千円)

「観光の復活」

- ・国内誘客総合推進事業費(2億8,340万2千円)
- ・宿泊業経営力強化加速化事業費(3,584万円)

「芸術文化・スポーツの振興」

- ・芸術文化活用交流促進事業費(2,593万7千円)
- ・おおいたラグビー次世代継承事業費(4,581万1千円)

「女性の活躍」

- ・女性が輝くおおいたづくり推進事業費(3,023万円)

「カーボンニュートラルへの挑戦」

- ・エネルギー関連産業成長促進事業費(1億5,466万1千円)
- ・中小企業等エコエネルギー導入支援事業費(4億2,500万円)

「DXと先端技術への挑戦」

- ・MaaS推進事業費(2,433万6千円)

MaaS(マース:Mobility as a Service)とは、地域住民や旅行者一人一人のトリップ単位での移動ニーズに対応して、複数の公共交通やそれ以外の移動サービスを最適に組み合わせることで検索・予約・決済等を一括で行うサービス

- ・次世代モビリティサービス活用促進事業費(3,717万2千円)

「企業誘致の推進」

- ・企業立地促進事業費(19億9,161万2千円)

「広域交通ネットワークの充実」

- ・東九州新幹線推進事業費(563万3千円)

「教育県大分の創造」

- ・未来を創る学力向上支援事業費(8億3751万円)
- ・地域における個別最適な学び推進事業費(1,033万8千円)



【一般質問でのひとコマ】

県議会は傍聴もできますし、インターネット中継や録画の公開でもご覧になれます